館山寺温泉で最古の歴史を誇る

おもてなしの旅館へ

〈山水館欣龍〉

はじまりは小さな料理屋から伝統が息づく料理旅館

料理と温泉が評判の山水館欣龍は、かんざんじ温泉で最も歴史ある旅館。明治43年に料理屋からスタートし、現在は、四代目の女将が宿を守る。真心のサービスに定評があり、その魅力は多岐にわたる。料理屋だった頃から培われた料理へのこだわり、全室から浜名湖を一望できるロケーション。そして、温泉宿ならではの総檜造りの大浴場、湖畔の風に吹かれながの露天風呂など、宿泊客を楽しませ笑顔にするコンテンツが満載だ。

すべてのサービスの原点である“きめ細かいおもてなし”は、かつての著名人や旅人たちにも愛されてきた。昭和12年には歌人・与謝野晶子が滞在した記録が残り、その時に詠まれた句は現在もフロントに飾られている。創業100年という節目を数年後に迎える山水館欣龍。昔ながらの旅館の良さを残した老舗宿として、質の良いサービス、人と人との温かいふれあいを大切に、ますます深化していくのであろう。

【山水館欣龍 さんすいかんきんりゅう】
浜松市西区館山寺町2227
TEL.053-487-0611
http://www.sansuikankinryu.com/

浜名湖や遠州灘の海の幸、山の幸を厳選し、素材を生かした調理法で作り上げる華やかなコースが自慢。冬の時期には、遠州灘天然とらふぐのコースもお目見え。四季を感じる繊細な味わい、心が込もった数々の料理は宿泊客からの評判が高い。

気軽に！日帰り温泉

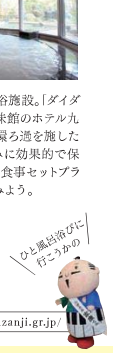
静岡県下最大級の日帰り温泉 手ぶらでほっこり温泉三味

趣の異なる3種類の大浴場からなり、2つの源泉を楽しむことができる温浴施設。「ダイダラボッチの湯」は館山寺温泉の共同源泉、「石景の湯」と「桧香の湯」は、姉妹館のホテル九重から湧き出る自家源泉を使用。さらに、源泉100%の「黄金の湯」と、循環ろ過を施した無色透明の「白金の湯」の2種類のお湯もあり。天然温泉のため、各種痛みに効果的で保温保温効果も高いと評判。併設する「ホテルウェルシーズン浜名湖」でのお食事セットプランもあり、1日たっぷり過ごせる。かんざんじ温泉の魅力を存分に味わってみよう。

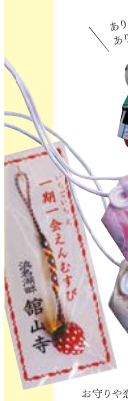
■利用料金
大人（中学生以上）　平日（月～金曜）／1,260 円　土・日・祝日／1,470 円
レイト料金（17:00以降）／1,050円　※特定日料金、子ども料金設定あり

【浜名湖かんざんじ温泉 華咲の湯】
浜松市西区館山寺町1891　TEL.053-487-0001　http://hanasakinoyu.jp/

日帰り温泉施設の情報はかんざんじ温泉観光協会のHPより　http://www.kanzanji.gr.jp/



立ち寄りスポット



お守りや恋みくじが豊富で、若い女性も多く訪れる。えんむすびのお守りは500円～。

館山寺温泉の名前の由来となった禅寺

810年に空海（弘法大師）によって創建されたと伝えられる古刹。かんざんじ温泉内、高さ50mほどの小さな山の中腹に位置し、風光明媚な浜名湖を眼下に望む絶景スポットとしても知られる。縁結びの寺としても有名で、縁結び地蔵のまわりには数多くの絵馬が奉納されている。周辺には浜名湖を見ながら一周できる遊歩道があり、晴れた日には富士山が見えることも。散策をしながら四季折々の自然を楽しみ、心穏やかなひとときを過ごしてみよう。

【曹洞宗 館山寺】
浜松市西区館山寺町2231　TEL.053-487-0107

ホテル九重の北側にある遊歩道には、源泉公園の足湯「水神の松（もり）」がある。足湯につかりながら浜名湖の景色をのんびり眺めれば、散策に疲れた足も癒されるはず。ほか、「だいだらぼっちの足湯」もあり。誰でも利用できる無料の足湯が2ヶ所で楽しめるのは、温泉の街ならでは。

大草山を望む美しい景色の中、浜名湖遊覧船がゆっくりと走りぬけ、のどかな時間が流れる。

ほっこりあったまる

魅惑のかんざんじ温泉

浜名湖の東岸に位置するかんざんじ温泉。料理自慢の宿が立ち並び、浜松屈指の温泉エリアとして賑わいをみせる。周辺にはレジャースポットや景勝地が密集し、過ごし方は様々。浜名湖の美しい景観を眺めながら、体も心もほっこり温めよう。

浜名湖屈指の温泉街で味わう温かいおもてなしの心

映画「男はつらいよ」やNHKドラマ「湯の町行進曲」の舞台になった、浜名湖かんざんじ温泉。県内外から観光客が訪れる名温泉街である。現在15軒の旅館が営業しており、近郊にはかんざんじローブウェイ、浜名湖オルゴールミュージアム、浜松市動物園、はままつフラワーパーク、浜名湖パルパルなどの観光施設が充実。50年以上に渡って浜松市の観光産業を牽引し、発展させてきた。

「かんざんじ」という名称は、温泉街の北側、館山にある、曹洞宗 館山寺から由来。この古刹は、弘法大師（空海）によって創建されたと伝えられる由緒正しい寺である。歴史を紐解くと、1953年（昭和28年）に館山寺温泉協会が設立され、最初の温泉掘削がスタート。5年後の1958年（昭和33年）に第1温泉源が開湯し、その後、第2～4温泉源の掘削を成功させている（現在は第3・4温泉源を使用）。

泉質は、浜名湖に流入する海水の影響から塩分濃度が高いことで知られ、神経痛や筋肉痛、関節痛など「痛み の改善」に効能があると言われている。最近では朝日放送系列の健康番組内で「痛みの改善につながる 塩分濃度が高い健康名湯ランキング」全国3位（にっぽんの温泉100選から）に輝き、一層の注目を浴びているそうだ。

雄大な浜名湖に寄り添うように位置し、湖畔のロケーションと標高113mの大草山が美しいコントラストを織り成す景勝地。ここで出会うのは、古き良き日本の温泉街風情と浜松人のおもてなしである。

温泉街の風物詩

1 かんざんじ温泉灯篭流し花火大会
毎年7月末に行われる花火大会。約3,000発の花火に加えて、水面にゆらめく灯篭流しが湖上を彩り、夏の浜名湖を盛り上げる。大草山に反射して大きく響く音も花を添える。

2 地引網体験
館山寺温泉街の奥にあるサンビーチで行われる地引網体験。仕掛けておいた網を「よいしょ、よいしょ」と参加者みんなで引くと、鯛、ハゼ、クルマエビ、ワタリガニなど、多彩な魚がかかっている。浜名湖の生き物に触れられる貴重な体験は、家族連れを中心に人気。5月～10月の期間中、有料貸切で行われているが、年に数回無料で体験ができるイベントも開催。

【浜名湖かんざんじ温泉観光協会】 TEL.053-487-0152　http://www.kanzanji.gr.jp/

左：昭和33年頃の写真。内浦と外海をつなぐ新堀を往来する船。
右：昭和32年頃の館山寺門前の商店街。古き良き昭和の時代を感じる一枚。